

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カナートモール住道	階数	地上2F
建設地	大阪府大東市大野1丁目1053-2の	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	6,570 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年12月11日
敷地面積	6,895 m ²	作成者	株式会社アール大阪 酒井 滋
建築面積	4,606 m ²	確認日	2017年12月13日
延床面積	6,061 m ²	確認者	株式会社アール大阪 酒井 滋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 84% ③上記+②以外の 84% ④上記+ 84%</p> <p>0 46 92 138 184 230 276 322 368 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>売場の天井は高く、利用者に開放感を与える空間になっている。又、多数の人が使用・利用する部分の内装材には、防汚性の高い建材を使用し、維持管理に配慮した設計となっている。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>喫煙室において、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>売場においては高い天井高防汚性の高い内装材の使用など、維持管理に配慮した設計</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水栓、節水型便器の採用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=84%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0118

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)カナーンモール住道					
		建設地	大阪府大東市大野1丁目1053-2の一部					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	1.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.5
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						3.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								